

平成 22 年度事業計画

1 中長期事業計画への展望と方針

武蔵野美術大学は 2009(平成 21)年に 80 周年を迎え、記念事業を推進し、世界美術大学学長サミット、国際デザインシンポジウムなどを開催した。

また、第 3 期自己点検評価における認証評価計画に基づき、平成 20 年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受け、平成 21 年 3 月には大学基準に適合しているとの認定を受けた。

施設設備については、「2004－2009 建築計画大綱」に基づき、13 号館、2 号館の新築、既存建築物の耐震補強工事及び空調工事並びに美術資料図書館新棟新築工事と予定どおり実施、平成 22 年度の美術資料図書館旧棟改修工事を残すところとし、着実に充実を図ってきた。

一方、本学を取り巻く状況は、地球環境の問題、グローバル化した競争の激化、世界同時不況、少子高齢化の進行による 18 歳人口の減少など大学全体の状況に加え、初等・中等教育における図画工作科・美術科の時間数削減など、美術教育についての社会的環境も、決して楽観できるものではない。

こうした状況のもと、本学は教育研究の質的向上を目指し、魅力ある美術・デザインの教育研究成果を広くアピールしていかなければならない。

新たな中長期計画については、上記の基本的認識を踏まえながら以下の課題を中心として策定する。

(1)キャンパス整備計画

イ. 「小平 3・3・3 号線に対応した北側校地 A 棟と基本構想について」(平成 21 年 3 月 11 日付、理事長・学長連名)に基づく、キャンパス基本構想の確立

理事長と学長のイニシアティブのもとに、これからの本学の将来展望を見据えて、当面の必要な建築プランや諸条件を明確にする。これを受けて、キャンパス基本構想委員会での検討を経て、理事会において「武蔵野美術大学キャンパス基本構想」(平成 19 年 1 月 17 日理事会決定)を前提とした、基本構想を確立する。

これには、年度的な整備計画や大学のあり方が含まれるものとし、具体的には A 棟などの建築計画の他、小平 3・3・3 号線の横断により一新するキャンパスの動線、正面計画、騒音対応・緑化・運動場を含めた環境への配慮などの検討課題を明確にする。武蔵野美術大学の将来像は理事長と学長のイニシアティブ

のもとに検討し、これを受けた基本構想を理事会において審議・決定する。

ロ. 鷹の台キャンパスの拡充

これまで小平 1 丁目土地区画整理組合からの保留地購入並びに隣接する土地の地権者からの購入を進め、鷹の台キャンパスの拡充を図ってきた。今後は、上記イとの関連や今後の財政計画も踏まえつつ、鷹の台キャンパス隣接土地の取得について大枠の方針を策定する。

ハ. その他

青梅校地及び新宿サテライトについて、今後のあり方を検討し、方針を策定する。

(2)財政計画

上記(1)に連動し、着実な実行を裏付ける資金計画を策定する。

(3)大学基準協会による認証評価における勧告・助言等指摘事項の改善・改革計画

平成 20 年度の大学基準協会による認証評価の結果、勧告・助言等の指摘を受けた事項について、理事長・学長のもとで策定された計画に基づき、平成 24 年 7 月までに改善・改革を実行する。

2 平成 22 年度の事業計画における重点課題

平成 22 年度は、下記のとおり具体的な重点課題に取り組むための事業計画を策定する。

(1)外部資金を導入しての教育研究活動の推進

①平成 20 年度文科省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択事業「造形資料に関する統合データベースの開発と資料公開」の推進

②平成 21 年度大学教育・学生支援推進事業（テーマ A）大学教育推進プログラム「造形ファシリテーション能力獲得プログラム」の推進

(2)教育研究体制の充実

特別任用専任教員の任用、客員教授の充実をおこなうことなどを含め、本学の教育研究の水準にふさわしい専任教員体制の充実を図る。

(3)国際交流の推進

アジア圏の大学等教育研究機関との交流を深めるとともに、留学生受入促進を図るべく、検討を進める。

(4)美術資料図書館新棟の開館

美術資料図書館新棟を開館し、学生の利用に供する。

(5)入試日程・制度の見直し

優れた資質を持つ人材の確保に向け、平成 23 年 2 月に実施する平成 23 年度造形学部一般入試の日程を変更する。

また、これまで造形学部一般入試の振替試験として実施してきた外国人留学生・帰国生の選抜について、特別入学試験として実施する。

(6)建築計画大綱を中心とした建築事業の実施

主な工事としては次の事業を実施する。

①美術資料図書館旧棟改修工事

②1 号館外壁・屋上防水補修等工事

(7)バリアフリーの推進

バリアフリーへの対応として平成 23 年度以降順次進めるエレベーター設置工事の計画を策定し、平成 22 年度に 5A 号館設置の設計を行う。

(8)鷹の台キャンパスの拡充

長期的な活用の安定性、当面の小平 3・3・3 号線に伴う施設移転の利便性等を踏まえ、鷹の台キャンパス近隣土地の取得を進める。

(9)外部・競争的研究資金獲得の促進

科学研究費補助金をはじめとした外部・競争的研究資金の獲得促進を図る。

以 上